

伊藤忠エネクス株式会社

(東証一部上場 8133)

2022年3月期第1四半期 決算補足説明資料

2021年7月30日

ご注意

資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

- 本資料の数値について、特に断りのない場合はすべて国際会計基準（IFRS）ベースで記載しています。
- 本資料では、下記の通り表記を置き換えております。
「営業活動に係る利益」 ⇒ 「営業利益」
「当社株主に帰属する四半期純利益」 ⇒ 「四半期純利益」

業績ハイライト

2022年3月期第1四半期 決算概要

- 「**第1四半期純利益**」は、前年比△25.5%・9億円減少の**27億円**。
前年同期の原油価格の変動を捉えたオペレーションによる一過性収益の反動等により減益となったが、感染症による影響は縮小傾向にあり、売上・販売面は回復基調で特殊要因を除けば順調な滑り出し。
- 「**売上総利益に対する販管費率**」は、営業活動の回復はあったものの、引続き経費をコントロール(79.8%)。

売上収益 **2,070**億円 (前年比+39.7%)





営業利益 **43**億円 (前年比▲2.7%)

売上総利益 **208**億円 (前年比+2.4%)

四半期純利益 **27**億円 (前年比▲25.5%)

新型コロナウイルス感染症の影響について

業績への影響（前年同期比）

 <p>石油</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ リモート勤務や外出自粛の影響は残るものの、ガソリン・軽油の販売量は増加。
 <p>ガス</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 店舗・工場等の稼働率は回復傾向にあり、LPガス(業務用・工業用・オートガス)の販売量は増加。 □ 巣ごもり需要は落ち着きつつあるものの、営業権買取等により家庭用LPガスの販売量は前年同期並み。 □ 産業用ガスの販売量は、前年同期並み。
 <p>電力</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 店舗・工場等の稼働率は回復傾向にあり、高圧電力の販売量は増加。 □ 巣ごもり需要は落ち着きつつあるが、契約件数の増加により家庭用を中心とした低圧電力の販売量は増加。
 <p>車販売</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 新型車等の販売回復により、販売台数は増加。

各種販売数量(全社実績)

<ul style="list-style-type: none"> ■ ガソリン 625千KL (前期比+12.1%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ LPガス 111千トン (前期比+0.7%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電力小売 542GWh (前期比+6.5%取次数量含む)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 軽油 762千KL (前期比+3.3%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 産業用ガス 16千トン (前期比△0.8%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新車 5.4千台 (前期比+13.5%)

目次

◇ 2022年3月期第1四半期決算概要

- ① 全社概要
- ② セグメント別概要

◇ Appendix

2022年3月期第1四半期決算概要

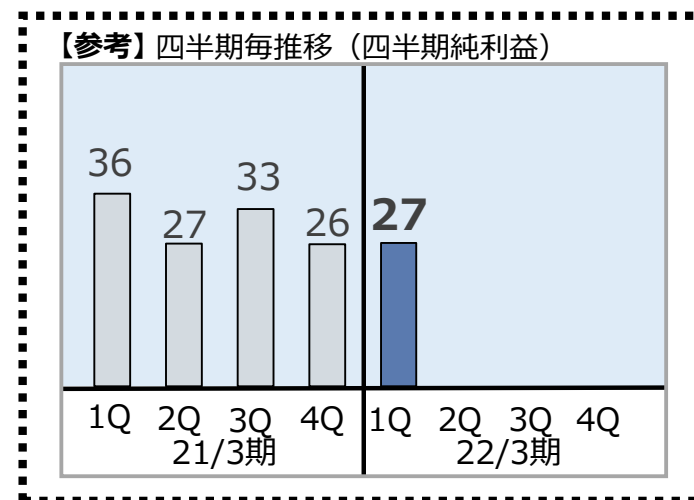
① 全社概要

2022年3月期第1四半期 決算/サマリー

産業ビジネス事業での一過性収益の反動等を除けば順調な滑り出し

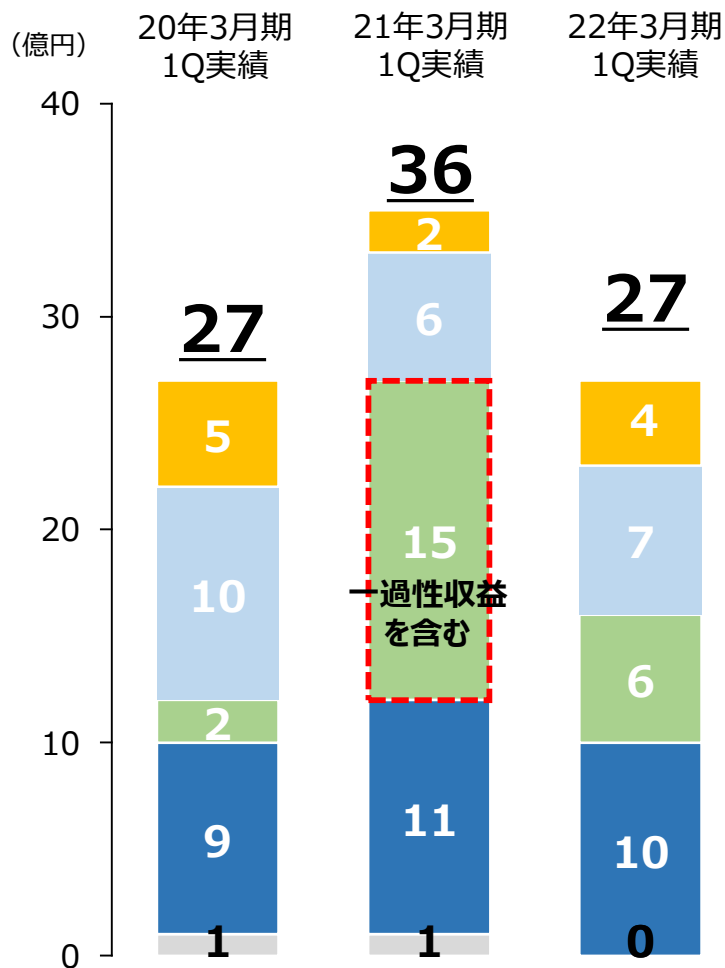
(億円)	21年3月期 1Q実績	22年3月期 1Q実績	増減	22年3月期 通期計画	進捗率
売上収益	1,482	2,070	+ 588	8,000	26%
売上総利益	204	208	+ 4		
販管費	▲159	▲166	△ 7		
営業利益	44	43	△ 1	205	21%
持分法による投資損益	6	5	△ 1		
四半期純利益	36	27	△ 9	125	21%
売上総利益に対する販管費率	78.0%	79.8%	+ 1.8pt		

- 「第1四半期純利益」は、前年比△ 25.5%・9億円減少の27億円。
前年同期の原油価格の変動を捉えたオペレーションによる一過性収益の反動等により減益となったが、新型コロナウイルス感染症による影響は前年同期に比べ縮小し、販売数量も回復基調で順調な滑り出し。
- 「売上総利益に対する販管費率」は、79.8%と、前年差+1.8%となり、引続き経費をコントロール。
- 年間配当は46円を計画(中間配当 23円、期末配当 23円)。



セグメント別 四半期純利益

数量回復傾向も、産業ビジネス事業での一過性収益の反動により減益



主たる増減要因

■ ホームライフ（前期比：+2億円、計画進捗率：15%）

直売顧客軒数は、新規顧客獲得活動や営業権買収活動の推進により、前期末より微増の約553千軒。LPガス販売数量は、業務用や工業用の需要は、回復傾向にあり、前年度の巣ごもり需要の反動があったものの、営業権買収等により家庭用LPガスは前年同期並み、全体としても前年同期並み。損益面はLPガスの輸入価格の上昇に伴う在庫影響等により増益。

■ カーライフ（前期比：+1億円、計画進捗率：19%）

給油所数は、前期末より14カ所減少し、1,673カ所。石油製品の販売数量は前年同期を上回る。新車販売台数は、新型車等の販売回復により、前年同期を上回る。損益面は、石油事業の小売利幅が縮小するも、自動車ディーラー事業の販売台数の回復により全体としては増益。

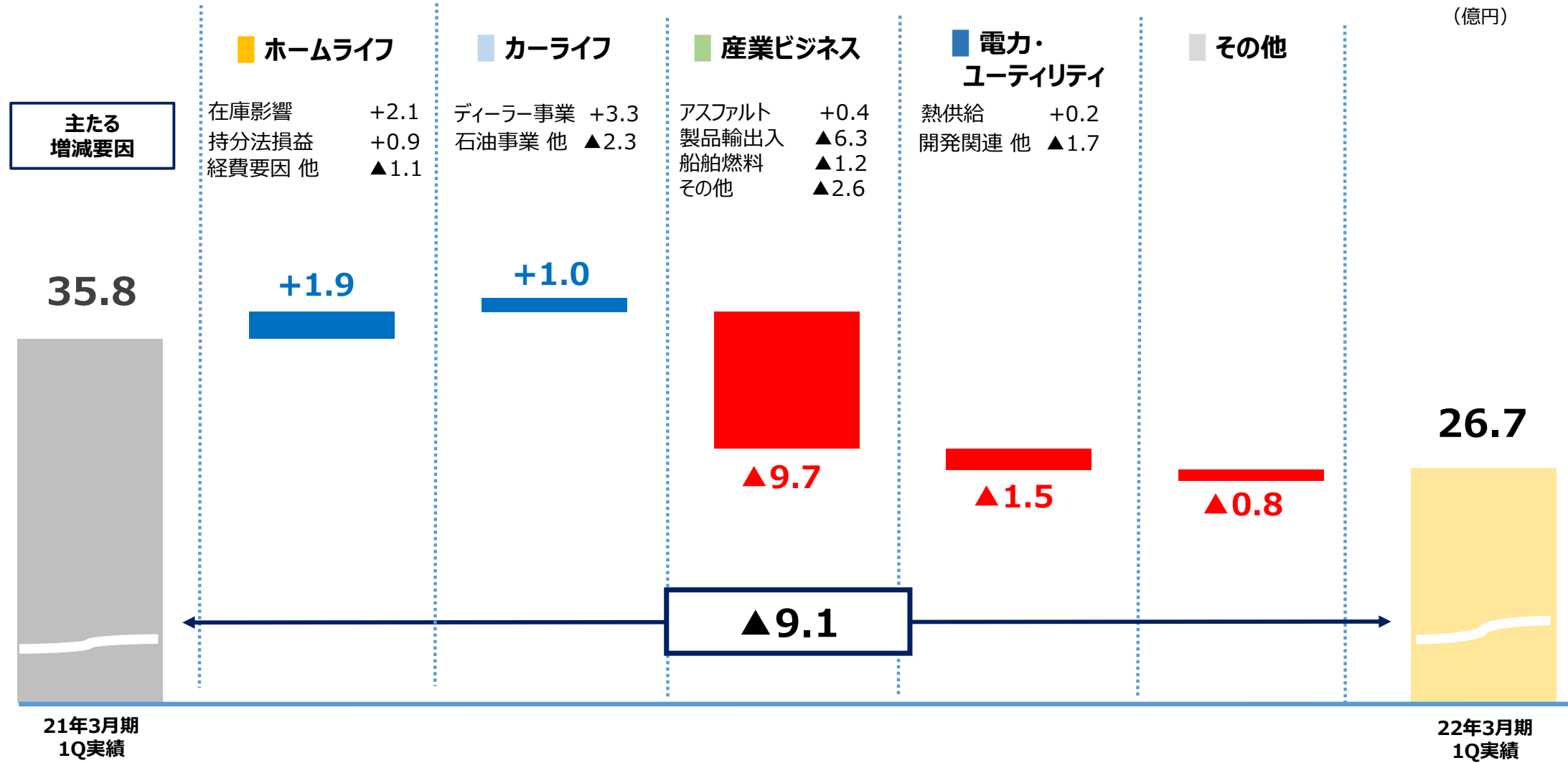
■ 産業ビジネス（前期比：△9億円、計画進捗率：22%）

アスファルト事業の販売数量は採算販売を徹底し、前年同期を下回る。船舶燃料販売事業は、内航船向けは既存顧客の新規航路向け供給を獲得したものの、外航船向け供給が減少し、前年同期を下回る。また法人向け自動車用燃料給油カード販売は、新規顧客開拓が奏功し、販売数量は前年同期を上回る。損益面は、アスファルト事業において増益したものの、前年度の原油価格の変動を捉えたオペレーションおよび金融収益による一過性収益の反動が大きく、減益。

■ 電力・ユーティリティ（前期比：△1億円、計画進捗率：25%）

小売電力のうち、高圧の販売数量は、法人向け契約件数の増加により前年同期を上回る。また低圧の販売数量は、家庭向けを中心とした契約件数の増加により前年同期を上回る。熱供給事業の供給量は、前年同期とほぼ同数量。損益面は、持分法会社からの取込利益の減少により減益。

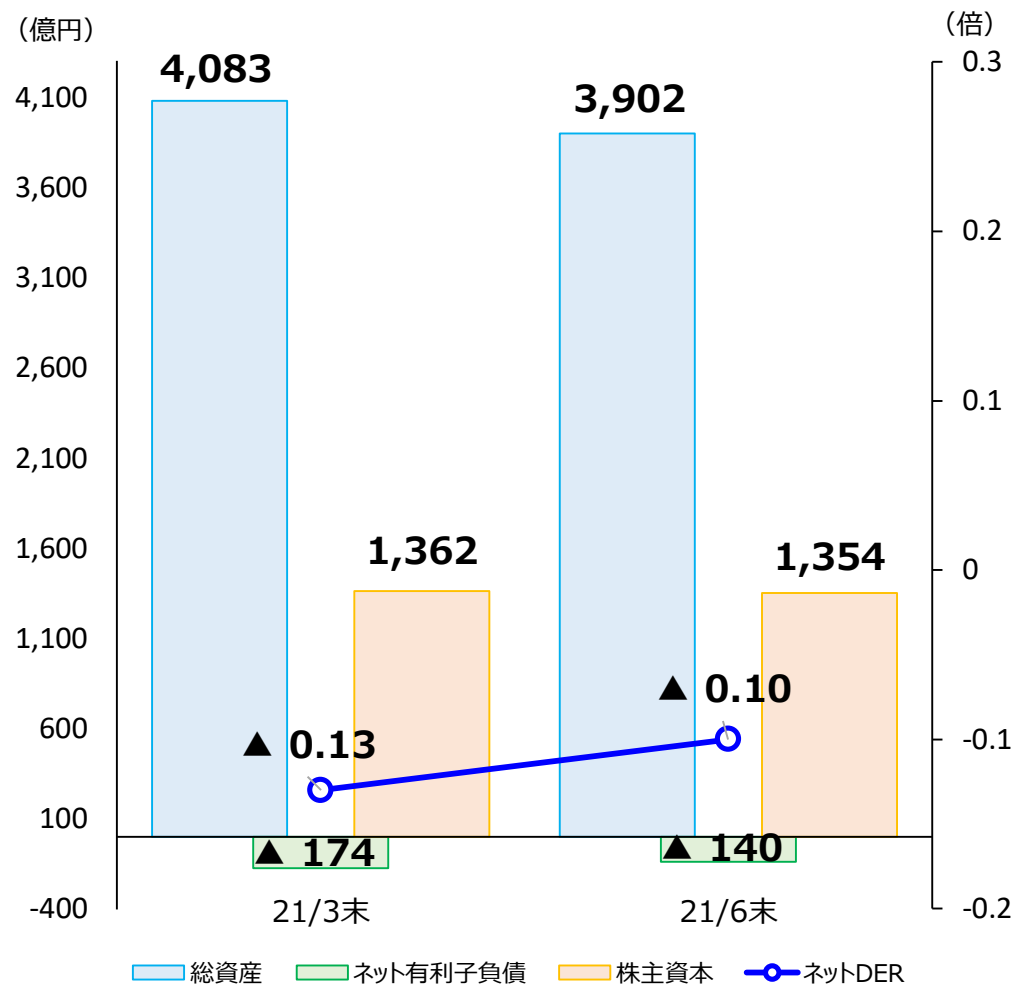
セグメント別 第1四半期純利益分析



季節要因等の影響で営業債権債務が減少

- **総資産**：営業債権債務の減少により、前期末比181億円減少し、**3,902億円**。
- **株主資本**：配当金支払等により、前期末比8億円減少し**1,354億円**。
- **ネットDER**：現金及び預金の増加によりネットDERがマイナス値。

	(億円)		
	21年3月末 実績	21年6月末 実績	増減
総資産	4,083	3,902	△ 181
ネット有利子負債	▲174	▲ 140	+ 34
株主資本	1,362	1,354	△ 8
株主資本比率	33.4%	34.7%	+ 1.3pt
ネットDER	▲0.13倍	▲ 0.10倍	+ 0.03倍



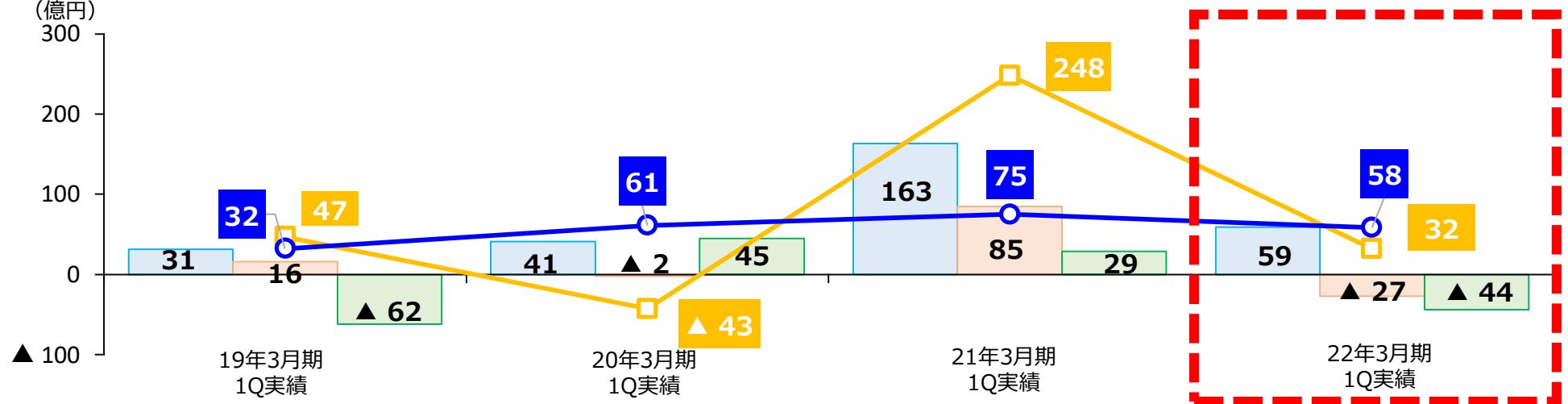
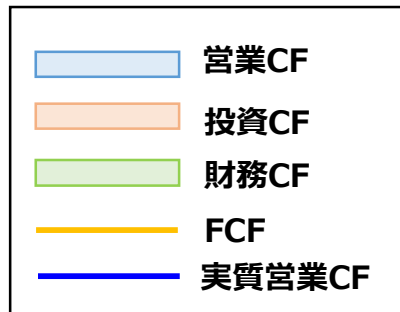
キャッシュ・フロー

特殊要因を除けば、引き続き潤沢な営業CFを創出

キャッシュ・フロー	19年3月期 1Q実績	20年3月期 1Q実績	21年3月期 1Q実績	22年3月期 1Q実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	31	▲41	163	59
投資活動によるキャッシュ・フロー	16	▲2	85	▲27
(フリー・キャッシュ・フロー)	47	▲43	248	32
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲62	45	29	▲44
実質的なキャッシュ・フロー				
実質営業キャッシュ・フロー (※)	32	61	75	58

(※) 「営業CF」-「運転資金等の増減」

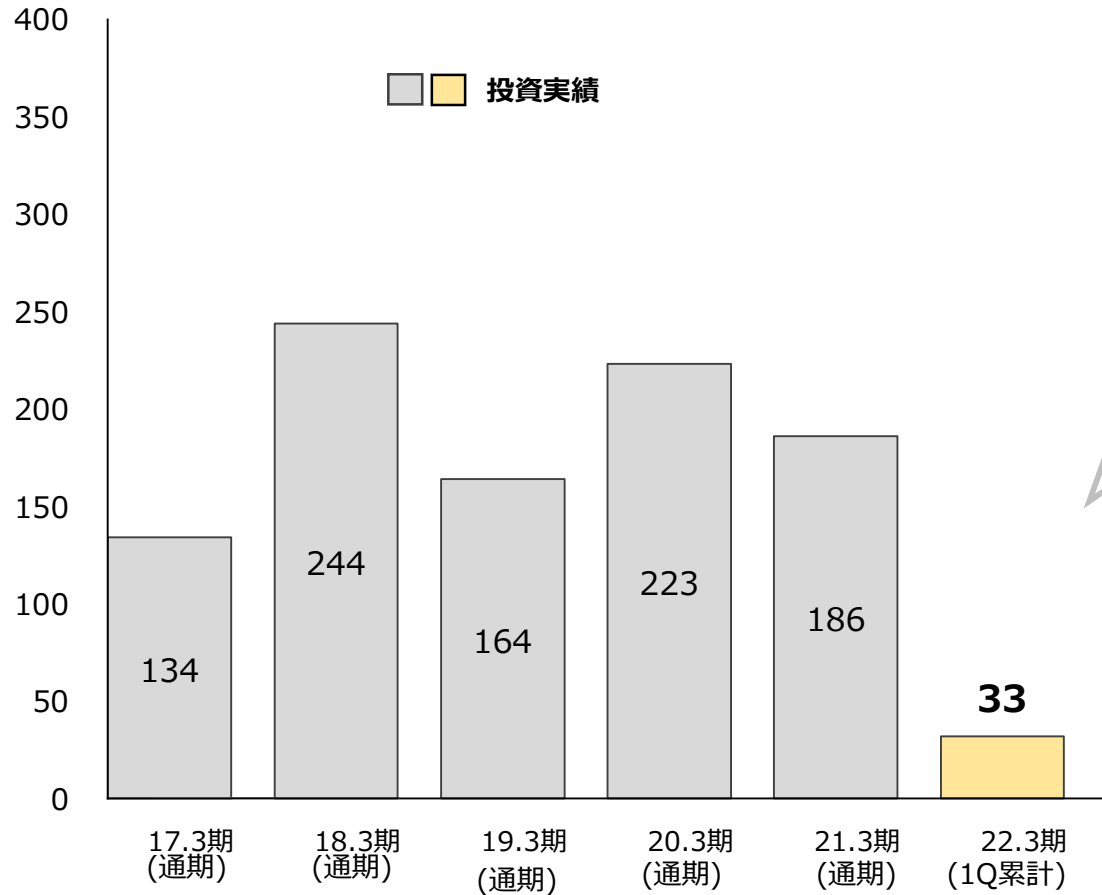
(億円)



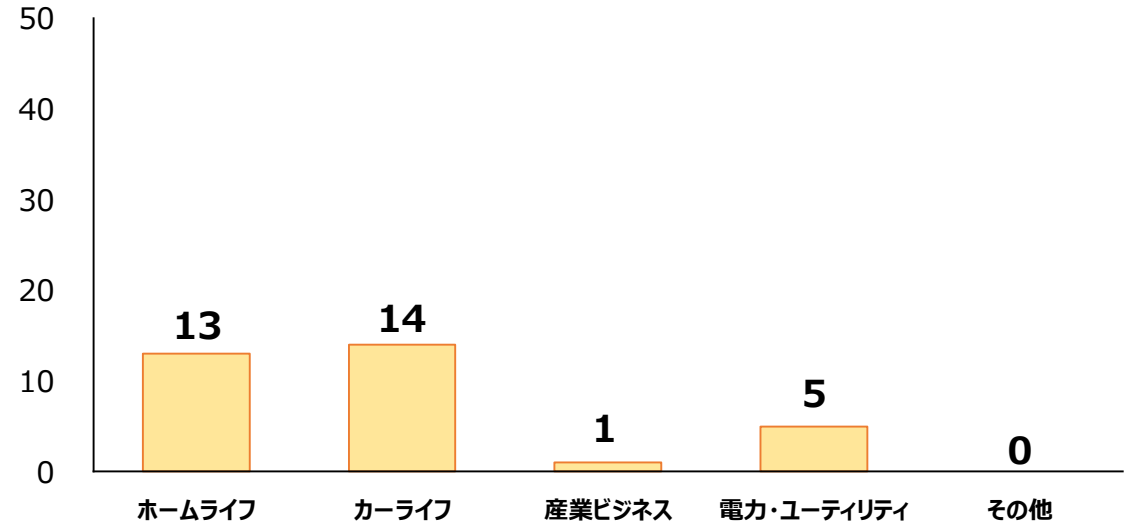
投資の推移

設備の維持・保全投資に着手、成長投資は第2Q以降に予定

全社 (億円)



22年3月期1Q実績 セグメント別

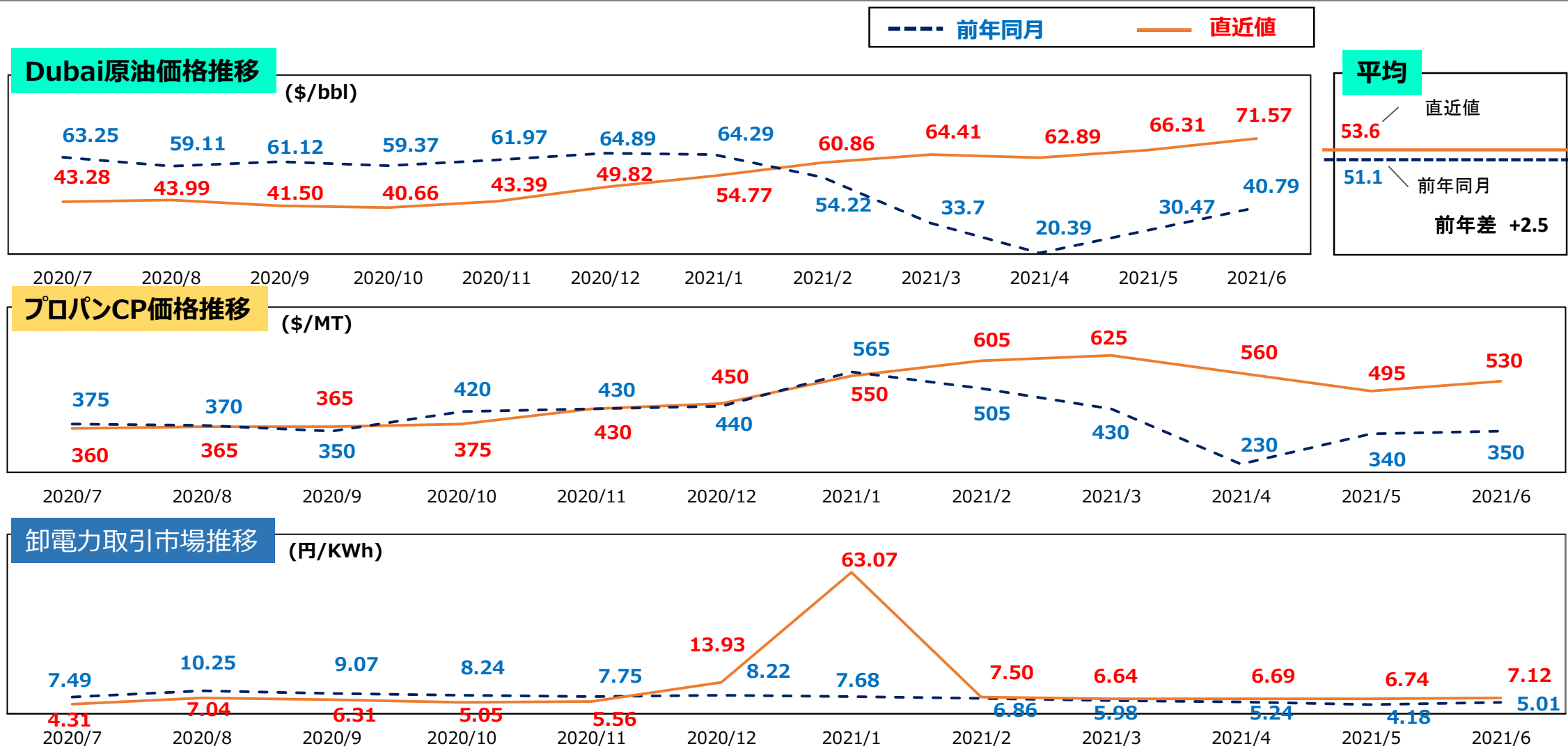


主な投資実績

ホームライフ	設備投資、営業権買収、等
カーライフ	設備投資、等
産業ビジネス	設備投資、等
電力・ユーティリティ	設備投資、開発関連、等
その他	—

(参考) 市場動向

原油価格は前年同期初に底値を付け、継続して上昇傾向



2022年3月期第1四半期決算概要

② セグメント別概要

セグメント別業績

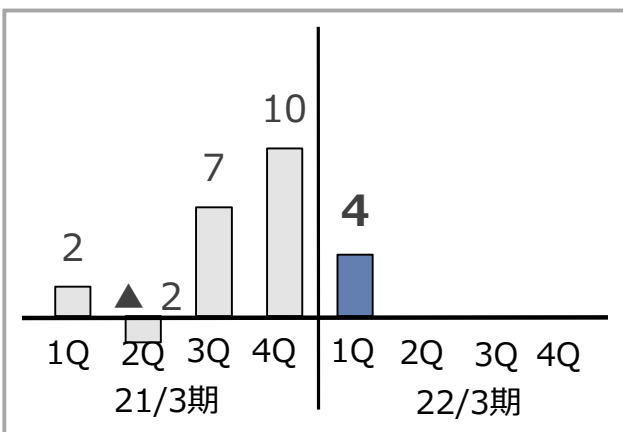
(億円)

		21年3月期 1Q実績	22年3月期 1Q実績	増減	増減率 %	22年3月期 通期計画	進捗率
■ 全社	売上収益	1,482	2,070	+588	+ 39.7	8,000	26%
	営業利益	44	43	△1	△ 2.7	205	21%
	当期純利益	36	27	△9	△25.5	125	21%
■ ホームライフ	売上収益	158	180	+22	+ 14.3	—	—
	営業利益	1	3	+2	+493.0	—	—
	当期純利益	2	4	+2	+111.0	25	15%
■ カーライフ	売上収益	817	1,152	+335	+41.0	—	—
	営業利益	9	15	+6	+64.5	—	—
	当期純利益	6	7	+1	+15.3	38	19%
■ 産業ビジネス	売上収益	323	559	+236	+73.2	—	—
	営業利益	17	8	△9	△53.9	—	—
	当期純利益	15	6	△9	△63.0	26	22%
■ 電力・ ユーティリティ	売上収益	185	179	△6	△3.1	—	—
	営業利益	15	16	+1	+7.2	—	—
	当期純利益	11	10	△1	△13.5	39	25%

ホームライフ部門 LPガス輸入価格の上昇に伴う在庫影響により増益

	21年3月期 1Q実績	22年3月期 1Q実績	増減	主たる増減要因 (四半期純利益)	22年3月期 計画	進捗率
売上総利益	46	51	+5	直売顧客軒数は、新規顧客獲得活動や営業権買収活動の推進により、前期末より微増の約553千軒。LPガス販売数量は、業務用や工業用の需要は、回復傾向にあり、前年度の巣ごもり需要の反動があったものの、営業権買収等により家庭用LPガスは前年同期並み、全体としても前年同期並み。損益面はLPガスの輸入価格の上昇に伴う在庫影響等により増益。	25	15%
販管費	▲46	▲48	△2			
営業利益	1	3	+2			
持分法損益	2	3	+1			
四半期純利益	2	4	+2			

四半期毎推移（当期純利益）



主な関係会社損益	21年3月期 1Q実績	22年3月期 1Q実績	増減
伊藤忠エネクス ホームライフ西日本	2	1	△0
エコア（当社持分51%）	1	2	+0
エネアーク （当社持分50%）	2	1	△1

顧客軒数(千軒)	21年 3月末	21年 6月末	増減
LPガス直売軒数	552	553	+1
電力小売軒数	109	112	+3

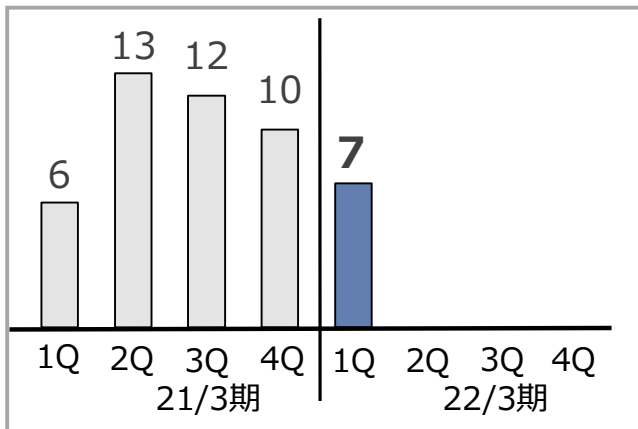
販売数量	21年3月期 1Q実績	22年3月期 1Q実績	増減
LPガス(千トン)	108	108	+0
産業用ガス(千トン)	16	16	△0

カーライフ部門

石油事業は小売利幅縮小するも、自動車ディーラー事業好調により増益

	(億円)			主たる増減要因 (四半期純利益)	22年3月期 計画	
	21年3月期 1Q実績	22年3月期 1Q実績	増減		進捗率	
売上総利益	104	110	+6	給油所数は、前期末より14カ所減少し、1,673カ所。石油製品の販売数量は前年同期を上回る。新車販売台数は、新型車等の販売回復により、前年同期を上回る。損益面は、石油事業の小売利幅が縮小するも、自動車ディーラー事業の販売台数の回復により全体としては増益。	38	19%
販管費	▲94	▲95	△1			
営業利益	9	15	+6			
持分法損益	0	0	0			
四半期純利益	6	7	+1			

四半期毎推移（当期純利益）



主な関係会社損益

	21年3月期 1Q実績	22年3月期 1Q実績	増減
エネクスフリート	6	3	△3
大阪カーライフグループ (当社持分51.95%)	▲1	2	+3

販売数量

	21年3月期 1Q実績	22年3月期 1Q実績	増減
ガソリン(千KL)	377	407	+8%
灯油(千KL)	57	41	△29%
軽油(千KL)	470	477	+2%
新車(千台)	4.8	5.4	+14%
中古車(千台)	5.0	5.8	+15%

産業ビジネス部門

一過性収益等の反動で前期比減益だが、アスファルト事業改善し、順調な滑り出し

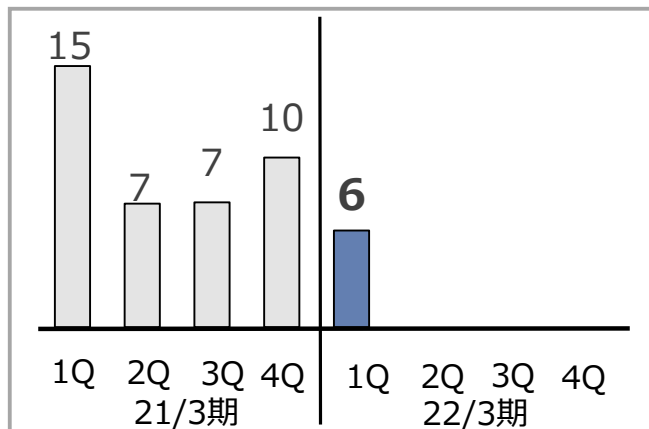
	21年3月期 1Q実績	22年3月期 1Q実績	増減
売上総利益	27	20	△7
販管費	▲10	▲12	△2
営業利益	17	8	△9
持分法損益	0	0	0
四半期純利益	15	6	△9

主たる増減要因 (四半期純利益)
アスファルト事業の販売数量は採算販売を徹底し、前年同期を下回る。船舶燃料販売事業は、内航船向けは既存顧客の新規航路向け供給を獲得したものの、外航船向け供給が減少し、前年同期を下回る。また法人向け自動車用燃料給油カード販売は、新規顧客開拓が奏功し、販売数量は前年同期を上回る。損益面は、アスファルト事業において増益したものの、前年度の原油価格の変動を捉えたオペレーションおよび金融収益による一過性収益の反動が大きく減益。

(億円)

22年3月期 計画	進捗率
26	22%

四半期毎推移（当期純利益）

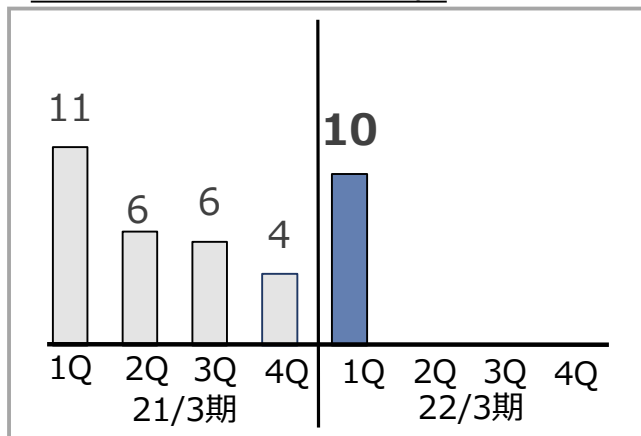


販売数量	21年3月期 1Q実績	22年3月期 1Q実績	増減
ガソリン(千KL)	176	214	+21%
灯油(千KL)	74	71	△4%
軽油(千KL)	266	283	+7%
重油(千KL)	539	415	△23%
アスファルト(千t)	72	58	△19%

電力・ユーティリティ部門 持分法会社からの取込利益の減少により、減益

	21年3月期 1Q実績	22年3月期 1Q実績	増減	主たる増減要因 (四半期純利益)	(億円)	
					22年3月期 計画	進捗率
売上総利益	27	27	0	小売電力のうち、高圧の販売数量は、法人向け契約件数の増加により前年同期を上回る。また低圧の販売数量は、家庭向けを中心とした契約件数の増加により前年同期を上回る。熱供給事業の供給量は、前年同期とほぼ同数量。損益面は、持分法会社からの取込利益の減少により減益。		
販管費	▲12	▲13	△1			
営業利益	15	16	+1			
持分法損益	3	2	△1			
四半期純利益	11	10	△1			39

四半期毎推移（当期純利益）



主な関係会社損益	21年3月期 1Q実績	22年3月期 1Q実績	増減
エネクス電力グループ	5	3	△1
エネクスライフサービス	1	1	△0
東京都市サービス (当社持分66.6%)	3	3	+0
王子・伊藤忠エネクス電力販売 (当社持分60.0%)	2	2	+0

販売数量	21年3月期 1Q実績	22年3月期 1Q実績	増減	
電力小売(GWh)※	509	542	+7%	
内訳	高圧販売※	384	389	+1%
	低圧販売※	125	154	+23%
蒸気(千トン)	125	130	+4%	
熱量(TJ)	237	237	△0%	

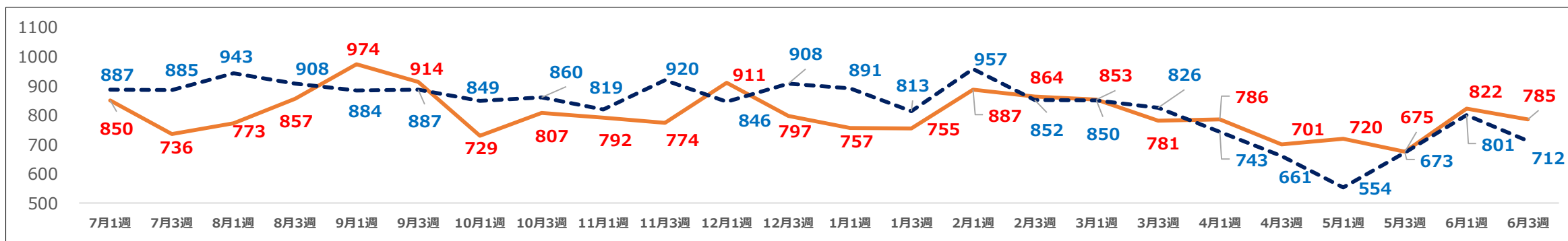
※速報値ベースでの算出
※電力小売については、取次数量を含む

Appendix

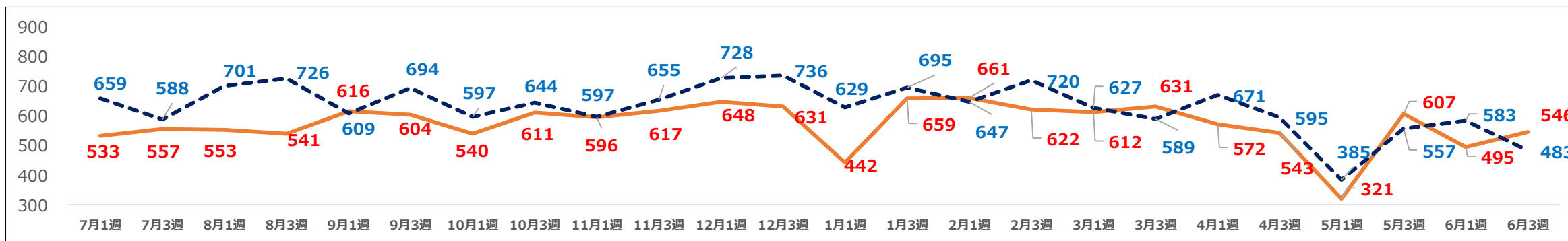
Appendix

【参考】 ガソリン・軽油の国内出荷状況(全国統計) ※ 石油連盟の統計資料を基に作成

ガソリン週間出荷量 単位(千KL)



軽油週間出荷量 単位(千KL)



Appendix

【参考】LPガス月別販売数量(6月～5月 全国統計)

	6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減
家庭・業務用	449	454	+1%	497	451	△9%	437	412	△6%	438	401	△8%	514	526	+2%	608	616	+1%
自動車用	48	31	△35%	50	37	△26%	52	35	△33%	47	35	△26%	47	36	△23%	46	33	△28%
合計	497	485	△2%	547	488	△11%	489	447	△9%	485	436	△10%	561	562	+0%	654	649	△1%

単位(千t)

	12月			1月			2月			3月			4月			5月			合計		
	2019	2020	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	前年 年間	直近 年間	増減
家庭・業務用	804	828	+3%	780	813	+4%	747	736	△1%	749	764	+2%	646	616	△5%	513	522	+2%	7,231	7,130	△1%
自動車用	51	37	△27%	45	29	△36%	42	27	△36%	41	31	△24%	29	30	+3%	22	26	+18%	545	383	△26%
合計	855	865	+1%	825	842	+2%	789	763	△3%	790	795	+1%	675	646	△4%	535	548	+2%	7,776	7,513	△2%

※ 日本LPガス協会の統計資料を基に作成

Appendix

【参考】新車／月別販売台数(普通車・小型車、軽自動車)(7月～6月 全国統計)

	7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減
普通・小型車	258	207	△20%	202	169	△16%	300	252	△16%	165	221	+35%	206	219	+6%	195	211	+8%
軽自動車	121	123	+2%	115	101	△12%	159	138	△13%	95	118	+24%	110	118	+7%	90	105	+17%
合計	379	330	△13%	317	270	△15%	459	390	△15%	260	339	+30%	316	337	+7%	285	316	+11%

単位(千台)

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			合計		
	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	前年 年間	直近 年間	増減
普通・小型車	193	208	+8%	233	227	△3%	322	329	+2%	145	183	+26%	124	166	+34%	182	198	+9%	2,525	2,590	+3%
軽自動車	108	116	+7%	129	135	+5%	163	181	+11%	75	106	+42%	51	96	+89%	102	99	△3%	1,317	1,436	+9%
合計	301	324	+8%	362	362	+0%	485	510	+5%	220	289	+32%	175	282	+50%	284	297	+4%	3,842	4,026	+5%

※ 日本自動車販売協会連合会 及び 全国軽自動車協会連合会の統計資料を基に作成

問い合わせ先

IR室 担当：今泉、中村
【TEL】03-4233-8025 【FAX】03-4533-0103
【E-MAIL】enex_irpr@itcenex.com